

選挙に行こう！

## 総選挙 - 私の思い・私の選択

「選挙で大切にしている選択基準はなに？」「そりゃ誠実に決まってるやん」と夫。「そんなこと言ったら誰もおらんやろ」と私。「私はイケメンで口だけがうまいやつはキライ。子ども達の幸せを考え、まっすぐに取り組んでくれる人がエエなー」（鈴木）

自公政権は山積する課題を放棄し、衆院を解散した。本命とする目論見は、緊急命令権であり戦前の経験を見れば明らかだ。緊急事態条項の創設は、海外での武力行使を認める9条改悪とセットになっている。このような憲法改正を許しては戦争に関わることを否定している現憲法の抜本的な転換に繋がる。私が安倍政治を終わらせたい理由である。  
(さんくろう)

「(森友疑惑)私や妻が関与していたら、総理も議員も辞めます」「(加計疑惑)申請があったのを知ったのは今年1月20日です」「(戦争法・共謀罪法の強行採決の後)国民に丁寧に説明いたします」。私たちはこの言葉を忘れません。  
(佐藤)

私が選挙で人を選ぶ基準は「自分たちの未来を託せるかどうか」です。お金や利益優先ではなく、みんなの事を考え、「子どもが笑顔でいられること」を一緒に考え、取り入れた政治をしてくれそうな人を選びたい。消去法ではなく、ぜひとも、この人に入れたいと思うような政治家がいてほしいと思う。  
(澄海)

憲法の原則である基本的人権や国民主権は、平和が破壊されれば、簡単に踏みこじられる。日本を戦争に引きずり込む憲法違反の安保法(集団的自衛権)は、廃止。  
(井上浩)

私は、「自衛隊は憲法違反」「安保法制、秘密保護法撤廃」「消費増税反対」「憲法は国民の宝」の信念を持っている。この信念を実現する政党の選択肢は限られています。  
(柳井)



# 平和が いちばん

2017年10月9日  
第124号  
平和で豊かな枚方を  
市民みんなで作る会

憲法を改悪し、希望を奪う動きは、常に政治の中心課題であり続けます。海外の人々の生活をも破壊し、武器を売り、働く人の権利を奪い続け利益を独り占めにする一塊の集団がある限り。みなさん、いまこそ、安保法制反対で動き出し、政治家の横暴を批判し、民主主義を守る平和のネットワークで、心なき政治家にNO！を  
(大田)

戦争への道まっしぐらで、身内ファーストの安倍首相は退陣だ！しかし「小池希望の党」は同じ穴の貉だ。戦争反対と平和の実現は野党・市民共闘の力で！「立憲民主党」の潔さに感銘し、全国に広めたいと思う。これが私の決意だ。  
(柳下)

今回の選挙では、憲法を変えるという政党を排除しなければなりません。「自衛隊が必要でしょ！」という方はおられますが、憲法を変えて「自衛隊」ではなく、防衛二法を改正するべきです。憲法13条の「生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利」を根拠とした国民の命を守る自衛隊へと変えていくべき時です。  
(田中)

戦後築いてきた平和と民主主義の社会を否定し戦前に逆戻りさせたい安倍首相。めざすは富国強兵の「美しい国」。財界にもうけさせ国民の命、生活を犠牲にすることなど何とも思っていない。国難はうそつき、独裁のあなた。こんな改憲、安倍は即退場！  
(井上由)

戦争させない 憲法こわさない さよなら安倍政治

## ホッと タイム

私達の理想を現実にする政治の選択を！

松田久子



映画『コスタリカの奇跡～積極的平和国家のつくり方～』（2016年製作）を見ました。「世界には軍隊なしで国の平和を保ってきた国々がある。そんな数少ない国の一つで、1948年に常備軍を解体した国がコスタリカだ。コスタリカは軍事予算をゼロにしたことで、無料の教育、無料の医療を実現し、環境のために国家予算を振り分けてきた。その結果、『地球幸福度指数（HPI）』（地球の健全性や人々の幸福度、そして健康を図る指標）は、2016の世界ランキングにおいて140ヶ国中で世界一に輝いているのがコスタリカである」（映画紹介のWEBより）という内容をみただけでも興味が沸きます。国政に携わる為政者にこそ見て欲しい映画ですが、今の朝鮮を巡って日本やアメリカの対応を考えるときは是非、多くの方にも観ていただきたいと思います。

「理想」に終わらせるのではなく、「理想」を「現実」に引き寄せ実践している国があることは、平和な社会を切望する私たちに大きな展望と確信を与えてくれます。朝鮮の「脅威」は煽るが、米韓軍事演習が年間200日も行われていることや、その中で金正恩斬首作戦なども練られていることはマスコミも含め語られず、「対話」を否定する安倍首相。そして「憲法9条」に3項を追加し「自衛隊」を明記しようとしています。社会保障費は本来、自然増1兆円と言われるが、その半分の5000億円が予算編成の過程で削減されようとしている。一方で「防衛費」は1300億円増の5兆2551億円の概算要求。コスタリカの平和国家の作り方と真逆の方向に進もうとしている今の日本、この衆議院選挙で審判を下したい。

## 手塚たかひろ 議員日誌



9月19日 **戦争法廃止全国行動** 戦争法強行成立から2年。全国各地で改憲反対の取り組みが行われた。枚方市駅前前で宣伝行動。約75人の参加。「安倍改憲NO！憲法を生かす全国統一署名」に取り組んだ。目標は全国で3000万筆。改憲NO、安倍退陣の声を大きくしたい。

9月25日 **改憲・戦争NO** 小池東京都知事が「希望の党」設立。民進党内のリベラル派を排除し、改憲を踏み絵に民進党を飲み込んだ。飲み込まれた民進党もだらしがないが、安倍政権への批判票を改憲へ流し込もうとしている。小池都知事は、改憲だけでなく核武装も展望しているウルトラ右翼だ。安倍自公政権の「野党」でなく補完勢力だ。事実上の改憲、戦争への道に突き進ませてもらえない。

9月28日 **解散・総選挙** 安倍首相は臨時国会の冒頭で衆議院を解散。森友・加計疑惑隠しの解散。丁寧に説明するといったのは誰か。少し回復したとは言え、安倍首相の支持率は低迷している。この解散は自公政権にとってもバクチの様なもの。解散後の世論調査では、各社いずれの結果も不支持率が支持率を上回っている。自民党は選挙公約に9条改憲を打ち出した。秘密保護法、戦争法、共謀罪法など次々と憲法破壊の悪法を強行成立させてきた。戦争への道をさらに進めようとしている。自民・公明・希望・維新の改憲勢力に3分の2以上の議席を許してはならない。安倍政権の退陣を。市民が、改憲NOを軸に共同行動を強めよう。

10月1日 **映画「標的の島 風（かじ）かたか」上映会** NPOフェスタでの取り組み。市民会館での2回上映で150人を超える参加。宮古・石垣・与那国など南西諸島への自衛隊ミサイル部隊の配備、高江、辺野古の米軍基地建設。軍隊は軍隊を守っても住民を守らない。子どもたちのために“風よけ”となって戦争への道を拒否する沖縄県民の姿。胸を打つ。「命こそ宝」、平和のために動き続けたい。

9月22日 9月分議員報酬から217,400円を大阪法務局に供託。私は政務活動費は一円も受け取っていません。

〒573-0027

枚方市大垣内町

2丁目8-27

シンエービル別館A

市民の広場“ひこぼえ”

TEL&FAX

072-846-8780

## 平和で豊かな枚方を市民みんなで作る会

共同代表 黒田 薫（平和都市枚方を考える市民の会）

鈴木めぐみ（親と子のリズム遊び講師）

奥村 秀二（弁護士）

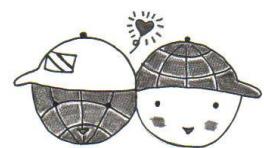
おおた幸世（枚方市平和無防備条例を実現する会）

事務局長 手塚 隆寛（枚方市会議員）

スタッフ 松田 久子（「すずらんの集い」代表）

メールアドレス：[hiratkatasiminokai@yahoo.co.jp](mailto:hiratkatasiminokai@yahoo.co.jp)

ホームページ：<http://hiratkatasiminokai.jimdo.com/>



「会」のシンボルマーク  
塔本賢一さん作